地域の医療機関向けニュースレター

社会医療法人同心会
西条中央病院
SAIJO CENTRAL HOSPITAL

まんなか

2026.11
秋号



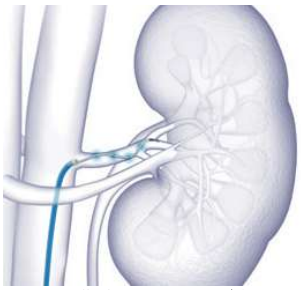
高血圧治療の新たな選択肢 腎デナベーション

腎デナベーション(Renal Denervation=RDN)とは?

2026年3月1日から保険適用となった高血圧治療です。当院は治療実施施設の認定を取得し、先般、愛媛県内初となるRDN治療を実施しました。
登録施行医師:中村真胤



――腎デナベーション治療とは、どのような治療ですか?


腎動脈へカテーテルを挿入

腎デナベーション治療は、腎動脈の周囲を走行する交感神経にカテーテルでエネルギーを加え、過剰な腎交感神経活動を抑えることで血圧低下を狙う治療です。腎臓は血圧調節に大きく関与しており、交感神経活動が過剰になると、レニン分泌、ナトリウム貯留、血管収縮などを介して血圧上昇に関与します。RDNはこの神経活動を抑えることで、薬物療法とは異なる機序で降圧効果を得る治療です。

――どのような患者さんが治療の対象になりますか?

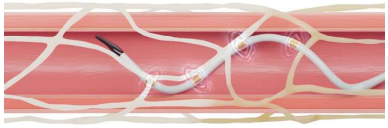
生活習慣改善や服薬状況、二次性高血圧の有無などを確認したうえで、複数の降圧薬を使用しても十分な血圧管理が得られない治療抵抗性高血圧が主な対象です。具体的な基準は右記をご参照ください。

――紹介の際に必要な情報や、当院で行う検査は?

ご紹介の際は、診察室血圧・家庭血圧、腎機能検査の結果、現在の投薬内容、現病歴・既往歴などをお知らせください。当院では24時間自由行動下血圧測定(ABPM)などを行い、治療抵抗性高血圧の評価に加え、二次性高血圧、睡眠時無呼吸症候群、臓器障害の有無、腎動脈の状態などを確認したうえで、チームで治療適応を検討します。適応の判断に迷う場合も、まずはご相談ください。

――治療はどのように行い、治療後はどう経過をみますか?

鼠径部に局所麻酔を行い、大腿動脈からカテーテルを挿入します。両側腎動脈の走行を確認し、腎動脈内腔から腎神経を高周波で加熱して除神経を行います。手技時間は約1～2時間で、入院期間は通常2泊3日です。治療後2～3か月頃から血圧低下が期待できますが、降圧薬は基本的に継続します。退院後は紹介元の医療機関で診察を続けていただき、当院でも定期的に経過を確認し、検査結果などを紹介元へご報告します。


腎神経を高周波で加熱(焼却)して除神経する

――地域の先生方へメッセージをお願いします。

高血圧を放置すると、脳卒中や心筋梗塞など命に関わる病気だけでなく、認知症や腎機能低下につながることがあります。複数の降圧薬を使用しても血圧管理に難渋する患者さんがおられましたら、RDNの適応を含め当院で評価いたしますので、ぜひご紹介ください。

以下の3点が疑われる方がRDNの対象です!

1.利尿薬を含む**3種類以上の薬**でも血圧が下がりにくい方

2.eGFR(腎機能の指標)が**40mL/分/1.73㎡**以上の方

3.診察室血圧**140/90mmHg**以上、
家庭血圧が**朝・晩135/85mmHg**以上
または**夜間120/70mmHg**以上の方

インタビュー全文はこちら▶